

第33回 国立市健康危機管理対策本部会議記録	
日時	令和4年6月14日（火）15時45分から16時35分
場所	市長公室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、馬橋子ども家庭部参事 大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)、 北村都市整備部長、中島基盤整備担当部長、橋本教育次長、内藤議会事務局長、林会計管理者
付議事項	(1) 都内・市内の状況について ①東京都の状況（資料No.1～4） ②市内の状況 (2) 催事（イベント等）の開催について（資料No.6～10） (3) その他 ①自宅療養支援室の今後の対応について
主な内容 (進行：大川健康福祉部長)	
<p>1 議 題</p> <p>(1) 都内・市内の状況について（大川健康福祉部長）</p> <p>①都内の状況(資料No.1～4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況は「拡大傾向にないが、警戒が必要である。」、医療提供体制は「通常の医療との両立が可能な状況である」と分析されている。</li> <li>・ゲノム解析において、オミクロン株の亜系統が確認されており、今後の動向を注視する必要がある。</li> <li>・入院患者数に占める60代以上の割合は69%と高いまま推移しているが、肥満、喫煙歴のある若年層も重症化のリスクがある。</li> </ul> <p>②市内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者数は減少しているが、依然、若年層の感染者数は多い。</li> </ul> <p>(2) 催事（イベント等）の開催について（橋本健康づくり担当課長） (資料No.6～10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催にあたって、都から、チェックリスト又は安全計画の公表について要請がある。</li> </ul> <p>※基準は1回あたりの参加人数が5000人を超えるか、人との距離を保てるか、大声が発生するかどうかによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、飲食、種類の提供については、飲食スペースの設置、大声を防ぐ対策などの対応をとること。</li> <li>・本要請は、都からイベント開催者への要請であり、市としては可否の権限を持たないが、夏祭りなど自治会がイベント開催を検討するにあたっては、都の基準に則って、開催の可否も含め検討していただく。</li> <li>・都からの通知等をわかりやすくしたものをホームページに掲載するとともに、紙ベースでまちの振興課、防災安全課、保険センター、児童青少年課の窓口に設置予定。</li> </ul> <p>(3) 自宅療養支援室の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <p>1日あたりの相談件数は2～3件である。6月からは日曜日相談を閉じている。</p> <p>(4) その他</p> <p>①自宅療養支援室の今後の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <p>6月以降もしばらくは、月～土曜日はこれまでと同様に2階執務スペースでの電話対応とする。</p>	
<p>2 本部長指示及び対応方針について</p> <p>安定した状況ではあるが、若年層の感染者数が多いことは、懸念すべき状況である。</p> <p>いつ感染拡大が起こるかわからない中で、細心の注意を払って、臨機応変に対応しながら業務にあたってほしい。</p>	

以上